

「子どもが 詩を書き始めるとき」 ～楽しくなる 詩の授業～

12月は多摩の子の募集の月です。

指導に何時間
かけるの？

詩ってどう書
かせるの

どんな詩が
いい詩なの？

どの学年にも役立ちます！
これからでも間に合います！

山口先生は、詩の授業で子どもたちとつながり、子どもたちの本音を引き出してきました。詩を書き、読み合うことで子ども同士がつながる学級を作ってきました。

二年ぶりに、山口先生から子どもの本音を引き出す「詩の授業」の実践例、単元のたて方、1時間の授業の流れを教えてください。

ぜひ一緒に学びましょう。

詩の授業が楽しくなりますよ！

コロナでの給食
五年 K・M
おなかすいたなあ
まだ三時間目かあ
給食の時間だ
手を洗って
消毒して
静かに運んで
すわって待つ
「いただきます。」
マスクをとったら
しゃべれない
給食の時間くらい
わいわいしゃべれないかなあ
初めて同じクラスになった子
仲良しの子と
しゃべれる日は

いつくるかなあ
いつかくるまで
しゃべらずたべようか…
学校に行く前
二年 Y・H
ガチャ
お父さんが
へやのドアをあけて
顔を出した
くつをはいているとき
ずっとわたしのことを見てる
ドアをあける前
うしろをむいて
「行つてきます。」
とお父さんとお母さんに言ってから
ドアをあけて
外に出るんだ

◆とき 12月4日(金) 午後6時30分～
◆ところ 羽村市生涯教育センター「ゆとろぎ」
よしこ
◆おはなし 山口佳子さん
(板橋作文の会・東京作文教育協議会・日本作文の会)

今年は、「多摩の子」の取り組みが変わり、全学級から作品(詩か作文)を出すことになりました。子どもの姿が見える詩への取り組みを聞いてみませんか。

※参加は無料です。感染症対策をして実施します。お誘い合わせて、おいでください。

※マスクの着用をお願いします。

※Zoomでのオンライン参加希望の方は前日までに下記へメールでご連絡ください。

ミーティングID等をお知らせします。

参加申し込み・問い合わせ [✉ seikyoso@t-net.ne.jp](mailto:seikyoso@t-net.ne.jp)

主催：西多摩教育研究会(西教研)

後援：青梅作文の会

都教組西多摩支部(Tel 0428-24-0459)